

令和8年度兵庫教育大学教員研修プログラムシラバス

講習ID	26011										
講習名	"かかわり"から教育を見つめ直すー教師のためのコミュニケーション論ー										
講習活用区分	<input type="radio"/>	自主研修	<input type="radio"/>	中堅教諭等資質向上研修（兵庫県、神戸市、堺市）							
	<input type="radio"/>	兵庫県15年研・20年研等									
実施日時	令和8年8月29日(土) 10:00～16:00								振替対応	無	
募集人数	20人		最小開講人数	4人							
実施形態・会場	対面型										
	神戸キャンパス				教室	L805					
対象校種	<input type="checkbox"/>	保育士	<input type="checkbox"/>	幼稚園教諭	<input type="checkbox"/>	小学校教諭					
	<input type="checkbox"/>	中学校教諭	教科指定:	無	<input type="checkbox"/>	高等学校教諭	教科指定:	無			
	<input type="checkbox"/>	特別支援学校教諭	<input type="checkbox"/>	養護教諭	<input type="checkbox"/>	栄養教諭	その他対象:				
対象職位	<input type="checkbox"/>	若手	<input type="checkbox"/>	中堅	<input type="checkbox"/>	ベテラン	<input type="checkbox"/>	学校管理職	<input type="checkbox"/>	トップリーダー	
担当講師	講師1	氏名:	大関 達也			所属:	兵庫教育大学				
	講師2	氏名:	石川 遥至			所属:	兵庫教育大学				
	講師3	氏名:				所属:					
	講師4	氏名:				所属:					
	講師5	氏名:				所属:					
	講師6	氏名:				所属:					
到達目標	共感的態度をもって互いの言葉を聴き合い、教育というコミュニケーションの問題を探究することができる。										
講習目的・内容	<p>子どもや同僚や保護者とコミュニケーションをとることは、教師の重要な課題の一つです。しかし、日々変化する学校現場でどのような点に留意してコミュニケーションを実践したらよいのでしょうか。本講習では、聴く姿勢や共感的態度を教育学や心理学の知見から学びながら、ワークショップを通して、教育というコミュニケーションの問題をじっくり考えることを目的とします。</p> <p><input type="checkbox"/> 探究活動を含む <input type="checkbox"/> 省察を含む</p>										
講習計画	【時間】			【内容】							
	10:00	～	10:15	オリエンテーション 講師自己紹介、講座のねらいと進め方の説明、アイスブレイキング：受講者自己紹介（氏名+今興味を持っていること）							
	10:15	～	11:00	リフレクション 1学期の活動を振り返って、キーワードを付箋紙に記入。M3紙に構造化。受講生同士で説明したり、質問したりしながら、互いに話を聴き合う							
	11:10	～	12:00	ワークショップ (1) テーマは子どもの声を受け止めるということ。グループKJ法により、問題を共有し、その解決の糸口を探る							
	13:00	～	13:30	ワークショップ (2) グループで出た意見を全体で共有							
	13:30	～	14:30	講話 (1) 対話としての教育ー聴く姿勢を中心にー							
	14:30	～	15:30	講話 (2) マインドフルネスの実践ー共感的態度を中心にー							
	15:40	～	15:55	まとめ 本講習を通して学んだこと（作文）							
	15:55	～	16:00	アンケート							
	～										
受講者の方へ	・各会場の空調につきまして、当日の気温等に応じて調整しておりますが、会場によっては、どうしても吹き出し口とその他の場所で温度差が出てしまいます。講習当日は体温調節のしやすい服装でお越しください。										
その他	・本講習は地域センター事業の一環として無償で行います。										